

千葉県習志野市

女性からシニアまで多彩な人材戦略 経営計画書導入で方向性や数値目標明確化

1960年の創業以来、関東一円を中心とした金属熱処理受託加工の専門企業としてその信頼と実績を積み重ねている。創業当初は、建設機械部品・自動車部品などを中心に素材の調質などの大気熱処理からスタート。その後、高周波焼入・浸炭焼入・ソルトバスと少しずつその領域を拡大。今ではほとんどの熱処理をワンストップで処理することが可能である。顧客から非常に高い評価を得るとともに、縁の下の力持ちとして産業界の発展に貢献している。

●所在地 千葉県習志野市東習志野6-21-6

●設立 1960年

●電話/FAX 047-473-0121/047-477-5587

●資本金 1,000万円

●URL <http://www.shima-netsu.co.jp>

●従業員数 20名

●代表者 代表取締役社長 嶋崎 利行



担い手確保

インターンシップや女性、シニアの活用など多彩な人材戦略

人材確保及び育成戦略の一環として、地元大学を中心とした大学生のインターンシップを15年程前から実施。理工系の四大卒を中心に積極的に採用している。また、女性雇用並びに管理職への登用を行うことで会社にとって貴重な戦力となっている。結婚・出産後もしっかりと職場に復帰できるよう働き方改革を推進し働きやすい体制の構築を図っている。シニア層も積極的に活用しており、就労に対する潜在的な需要や要望をしっかりとリサーチして見極め人材確保に繋げている。



高い技術を持つシニア従業員の作業現場

ものづくり

経営計画書や人事評価制度に基づいた給与制度改革

新卒採用をはじめたおよそ10年程前は3年以内に退職する者も少なくなかった。そのため、安心して働けるための経営改善の羅針盤・ツールとして5年前から[経営計画書]を導入。毎期末、全社員参加による経営計画発表会を実施している。これにより、会社が進むべき方向性や目標としての数値が明確となった。また、社員のモチベーション向上計画の一環として、約2年をかけ人事評価制度の構築とそれに連動した給与制度の抜本改革を断行。随時改善を加えつつ経営改革に効果を発揮させるよう努力している。



全社員参加による経営計画発表会

資格取得の奨励（バックアップ）と従業員全体のスキルアップ

社員教育体制の一環として、金属熱処理技能士などの国家資格をはじめ様々な資格の取得を積極的に奨励ならびに推進している。受験費用や試験当日の手当も付与。取得時には報奨金も支給し、人事評価の対象としている。また、業界の組合等外部で行なっている各種講習会やセミナーなどにも積極的に社員を派遣。特に新卒新入社員においては、入社後のおよそ二週間、外部研修に参加、社内においても335時間の内部研修を行う。会社への帰属意識の醸成やスムーズに実務従事できるよう取組んでいる。



社内危険予知訓練（KYT）講習会